

指定管理者管理施設の管理運営実績について【対象年度:令和4年度】

所管部局・課	土木部 都市局 都市整備課
--------	---------------

1 施設名等

施設名	鳥屋野潟公園(女池・鐘木地区)	所在地	女池：新潟市中央区女池南3丁目1番3号 鐘木：新潟市中央区鐘木451番地
		電話	025-284-4720 (鐘木)
		ホームページURL	https://www.tovanogata-park.com/

2 施設の概要

設置年月	昭和61年4月
設置目的 (主な利用形態・サービス内容等)	市町村の区域を越える広域のレクリエーション需要を充足することを目的として整備。 四季折々の風景を満喫できる日本庭園、山間の雰囲気を楽しめるせせらぎ、広々とした多目的広場等々多くの施設があり、年代に関係なく「遊び」「くつろぎ」「散策」など楽しめる。

3 指定管理者

指定管理者	株式会社 アール・ケー・イー
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)
選定方法	公募

4 現指定管理者以前の管理者

期間	管理形態 (直営、管理委託、指定管理)	選定方法 (公募or非公募)	管理者名
平成17年度まで	管理委託	—	財団法人新潟県都市緑花センター
平成18年4月1日～平成19年3月31日	指定管理	公募	財団法人新潟県都市緑花センター
平成19年4月1日～平成22年3月31日	指定管理	公募	鳥屋野潟公園グループ
平成22年4月1日～平成25年3月31日	指定管理	公募	鳥屋野潟セントラルパークグループ
平成25年4月1日～平成28年3月31日	指定管理	公募	株式会社アール・ケー・イー
平成28年4月1日～令和3年3月31日	指定管理	公募	株式会社アール・ケー・イー

5 管理運営実績(概要)

<ul style="list-style-type: none"> 管理の成果を図る指標と目標数値： 年間公園利用者数(推計値)：1,524千人(目標：1,015千人) (参考)R3：1,186千人 年間利用料金収入額：行為許可利用料金額 608千円(目標：498千円) 集客イベントの開催回数 目標回数161回 実施回数198回 利用者アンケート(回答者数329人)：全体的に高評価を得ている。 管理運営実績(概要)：3期2年目(通算10年目) 維持管理業務(樹木等植物、一般施設)、行為許可業務(写真撮影他137回、自主事業35回)

6 評価結果

評価項目	視点	評価	評価の理由
I 事業	利用促進やサービスの向上のための取組が行われているか	A	<ul style="list-style-type: none"> 各月、一般向けと子供向けイベントを開催し、広い年代層が楽しめるよう内容を充実させた。自然、生物、健康などのイベントを数多く企画・実施し、公園利用促進・サービスの向上に努めた。また、近隣施設、団体等と共同で行うイベントにも取り組んだ。 新型コロナウイルスの落ち着きから、概ねすべてのイベントを実施した。紙媒体のほか、公園ホームページやSNS等で公園の魅力やイベント等の情報発信、YouTubeの動画配信など、公園利用促進に努めた。
II 施設管理	施設、設備及び備品の維持管理・修繕が適切に行われているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> 園内設備・備品の維持管理は、概ね適切に行われた。 日常の巡視・点検や施設の保守点検が計画に基づき、適切に行われた。土系園路の補修や水たまり対応について、公園利用者からの評価も高い。 水道管漏水等の応急修繕のほか、園内施設修繕にも積極的に取り組んだ。 公園利用者から園路除草を望む声が複数見受けられた。また、近接施設内への折れ枝落下による事故が1件発生した。自然が近く、高木・老木も多い公園特性を鑑み、維持管理に改善の余地が見られた。
III 財務	安定的な運営が行われているか	A	<ul style="list-style-type: none"> 水道管敷設の漏水や凍結被害、降雪による大量の枝折れ等の緊急処置を要したが、予算の執行状況を鑑み、可能な範囲で適切な施設維持に努めた。 公園内行為許可等による収入は概ね事業計画の見込みどおり。農業系専門学校の講師料により収入が事業計画の22%増となった。公園内行為許可は、ロケーション撮影、写真撮影が「春」「秋」に多く、収入源になっており、飲食販売(自主事業)でも、販売員からの公園使用料が連日獲得できている。 有料イベントの参加費は材料費や人件費等に要する費用のみが見込まれているため、必ずしも収益増には繋がっていない。
IV 管理体制	適切な管理と安全を確保できる取組・体制となっているか	A	<ul style="list-style-type: none"> パークコーディネーターを配置することにより、職員の役割分担を明確にしており、公園管理に対する利用者の満足度も高く、適切な管理体制が取られていると判断される。また、公園利用者からの動植物の問い合わせにも、適宜対応できた。職員の対応も利用者からの評価が高い。 公園職員に他公園での外部研修を受講させるなど、人材育成およびサービス向上に努めた。 新型コロナウイルス感染症対応のほか、ベンチ等の清掃や鳥の糞の除去についても施設を清潔に保つ取組が実施された。 独自アンケート結果は、評価時点において情報公開がされていなかった。例年の公開内容についても、調査結果に対する状況や改善に向けた対応方針を加えるなどの改善が望まれる。
特記事項			<ul style="list-style-type: none"> 情報発信について、イベント情報をトイレに掲示するなど工夫が見られたが、SNSの更新頻度や活用方法においては、改善の余地が残っている。 広い年代層が楽しめるような、多くのイベントの企画・実施に努めている。引き続き、利用者拡大と収益向上につながる取組を実施してもらいたい。

評価	評価基準	評価の目安
S	水準を上回る	各項目の評価点数の平均が100点満点中93点以上
A	水準を達成	各項目の評価点数の平均が100点満点中80点以上93点未満
B	水準をやや下回る	各項目の評価点数の平均が100点満点中65点以上80点未満
C	水準を下回る	各項目の評価点数の平均が100点満点中65点未満

7 中間評価で改善に向けて意見・提案された事項への対応状況 (中間評価実施年度の翌年度以降に記載)

【中間評価実施年月日： 】

中間評価における意見・提案等	管理運営等への対応状況